

# おだか

第19号

2015

平成27年11月12日(木)

南相馬市

小高小学校

学校だより

## 児童作文コンクール

特選



相馬地方児童作文コンクールが10月21日(水)、万葉ふれあいセンターで行われ、本校3年生の高野さんが特選に選ばれました。

ぐらぐら動くことがこわくて、なかなか自転車乗りの練習に取りくめない高野さん。ふとしたクラスの友だちとの会話から少しずつ「練習してみようかな」という思いに変わってきた気持ちがよく伝わってくる作文です。ぜひ、お読み下さい

やってみようかな

「このくらいスピードで走るんだよ。やってみなさい。」

おかあさんが、わたしの自転車にのって走り方を見せてくれました。えー。わり。わたしはぜつ対できないと心に決めていたので、自転車にのる気にはなれません。

「ほら、やってみよう。練習しなかつたら、いつまでものれないよ。」

だんだん、お母さんの声が大きくなってきました。わたしは、仕方なく、自転車にまたがりました。後ろをお母さんにおさえてもらっていたけれど、ハンドルがぐらぐらしてきて、こわくてたまりません。思わず両足を地面について自転車を止め、おりてしまいました。

「転びそうだもん。こわいからならない。」

わたしは首をふって言いました。すると、お母さんだけでなく、おばあちゃんからも、

「転んだこともないのに、こわいなんてないでしょ。」

としかられてしまいました。夏休みが終わっても、わたしはまだ、自転車にはのれませんでした。

今のれなくてもいいやとあきらめていました。

十月になりました。れお君が日直の日でした。朝の一分間スピーチで、れお君が、自転車のりの練習をしたことを発表しました。れお君はのれるようになったのかなあと気にしながら聞いていたら、まだのれないという言葉が聞いて、わたしは、ちよつとほつとしました。でも、どのくらいお君のか気になったので、休み時間にれお君に聞いてみました。

「れお君、いつから自転車、練習したの。」

れお君は、  
「九月の終わりごろだよ。おじいちゃんが、あと六回ぐらいでのれるかなって言うてるんだ。」

とうれしそうに答えたので、うらやましくなりました。わたしは、四月から練習しているのに、まだのれません。れお君の方が先に自転車にのれるようになるかもしれない。わたしはだめだと、へこんでしまいました。また、れお君が話してきました。

「こんど、日和ちゃんと練習できるといいねって、おじいちゃんが言ったよ。」

どうしよう、わたしはぜつ対のれないのにと、ますます暗い気持ちになってだまっていたら、

「あのね、転ぶことをこわがらないで。家の人が後ろでささえてくれて

いるから、ぜつ対転ばないよ。」

と、れお君は、わたしを元気づけるように言ってきました。そう言われて

も、わたしはまだ不安でいっぱいでした。すると、その話を聞いていた風雲

君とみさきさんが、

「おれもまだのれないよ。」

「あたしものれないよ。」

と言ってきました。運動のできる二人がまだのれないなんて、びっくりしました。自転車にのれないのはわたしだけじゃないと、ちよっぴり気持ちが悪くなってきました。わたしは思い切

って

「ぐらぐらしてこわくない。」

と聞いてみました。すると二人は、

「こわいけど、がんばってこぐよ。」

と話してくれました。すごいなあ。勇

気があるなあ。そうか、わたしには勇

気がたりなかったんだと気づきました。

ぐらぐらしてもこわがらないで、

思い切ってぐんとペダルをふめばいいのかな。わたしは、頭の中で、力い

っぱいペダルをふむ自分のすがたを

## ご協力をお願いします

### イルミネーションの作成

11月14日(土) 午後2時～

2時間程度の作業を予定しています。  
動きやすい服装で、おいでください。  
軍手をご持参下さい。

小雨決行ですが、延期する場合は、メールでお知らせします。



そうぞうしてみました。なんとなくできそうな気がしてきました。それに、れお君が言った通り、お母さんが、いつも後ろをささえてくれていたから、ハンドルがぐらぐらしても、わたしは転んだことがなかったことも思い出しました。

自転車の練習、やってみようかな。わたしの心の中に、ほんの少し勇気がわいてきました。

# 給食試食会

## ～給食試食会～

11月4日(水)に、祖父母参観とともに実施しました。仮設校舎での初めての取り組みです。

食器や会場の関係で、今回は1～3年中心の会となりましたが、参加された皆様からは「来年も実施して欲しい。」「子どもたちと一緒に食べたかった。」「とてもおいしかった。」など、温かいご感想をいただきました。



試食会の様子